

2025 年度 事業計画

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

活動の指針

一般社団法人 清水マリン・アンド・ビーチスポーツ振興協会は、清水が持つ海・浜辺という資源を最大限に活用し、清水が海洋文化都市としてさらに発展していくことを目的としています。

当協会は 2019 年の設立以来、スポーツ団体やイベント等への支援、スポーツ振興につながる環境整備の提言などを通じて、マリンスポーツおよびビーチスポーツの振興に取り組んでまいりました。今年度もこれまでの活動を継承し、清水港周辺地域のマリンスポーツおよびビーチスポーツの振興のために、スポーツ団体への支援、広報活動、関係団体・機関との連携による情報収集、環境整備に向けた提言などを進めてまいります。

また、清水港周辺地域のマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興による地域の活性化に寄与すべく、各団体の支援につながる新たな活動も引き続き検討してまいります。

さらに、当協会は静岡県が進める三保内浜エリアマネジメント事業について、(株)gosea's、(有)nac. と共に『三保内浜コンソーシアム』を組成し受託しています。今年度は 3 年目となり、人の集まる三保内浜の実現に向けた取り組みを行ってまいります。

本指針の下、今年度は以下の活動を進めてまいります。

主な活動

1. 会議の開催

それぞれの会議を以下のとおり開催いたします。

(1) 定時社員総会

第 6 回 定時社員総会 2025 年 6 月 5 日 (木) 開催(対面)

(2) 理事会

第 1 回 理事会 2025 年 5 月 14 日 (水) 開催(書面) (前期決算報告、他)

第 2 回 理事会 2025 年 6 月 5 日 (木) 開催 (社員総会後理事会)

第 3 回 理事会 2025 年 11 月 開催予定 (中間報告、他)

第 4 回 理事会 2026 年 3 月 開催予定 (来期事業計画の承認)

※上記の他、必要に応じて運営委員会を開催いたします。

2. スポーツ団体、大会・イベント等への支援

(1) 助成金の交付

清水港周辺地域で行われているマリンスポーツ・ビーチスポーツにおける、大会・イベント等の定着・発展を主な目的とし、当該地域で活動を行う団体に対し、活動支援金として合計 390 万円の予算を設定します。

尚、広義には同エリア内で開催されるレクリエーションイベントにも活動支援の輪を広げてまいります。

(2) 備品の購入、支援団体への無償貸与

各団体が行う活動の間接的な支援として、当協会で所有する AED やビブス、救命胴衣などの備品の無償貸与を引き続き行ってまいります。また、各団体とのコミュニケーションを通じて、広くご利用いただけるような備品が出てきましたら、当協会での購入を検討してまいります。さらに、所有する備品がより多くの団体・イベントで活用いただけるよう、支援先各団体への働きかけも行ってまいります。

3. 外部広報活動の推進

(1) ホームページ

協会の活動や各支援団体の活動を発信するツールとして、定期的な情報の更新とコンテンツの充実を引き続き行ってまいります。今年度は、各団体の大会・イベントの情報発信だけでなく、有力選手の紹介や安全に関するコンテンツの制作、地域の皆さまへの発信を行うことにより、アクセス数の増加も目指してまいります。

(2) テレビ CM

昨年度に引き続き、当協会はテレビ CM の放送を行います。トップシーズンとなる夏季には機動的な広告宣伝を実施し、当協会のさらなるプレゼンスの向上を図ります。地域の皆さまへの露出を高めることで、マリンスポーツ・ビーチスポーツの賑わい作りに貢献してまいります。

4. 関係団体および関係機関への情報収集

各団体に対して、資金や物資に限らない様々な視点で支援ができるよう、地域のマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興に関わる他の団体・機関への情報収集を行ってまいります。静岡県主催で開催される市町との意見交換会に参加するほか、マリンスポーツ・ビーチスポーツという同じ枠組みの中で、協会と関わりのある活動団体同士の横のつながりを深める仕組みや企画も検討します。そして、関連する協議団体・行政等と情報交換の場を設けるなど、今後の誘致に向けたリサーチを続けてまいります。

5. マリンスポーツ・ビーチスポーツ振興につながる環境整備の提言

多くの市民がマリンスポーツ、ビーチスポーツを日常的に楽しむことができるよう、施設や環境整備を提言してまいります。2023年に静岡県より指名を受けた三保内浜エリアマネジメントについて、今年度も引き続き環境保全活動（清掃・安全巡回）を定期的の実施いたします。新たなイベントや大会の誘致に繋がるよう、同地の整備・管理を行い、三保内浜をさらに魅力ある空間にするための活動を続けてまいります。

以 上